



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL http://medpeer.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 TEL 03-4405-4905
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	3,659	62.8	733	92.2	757	106.2	485	91.5
2019年9月期第3四半期	2,247	40.0	381	29.7	367	20.1	253	51.5

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 540百万円 (104.5%) 2019年9月期第3四半期 264百万円 (57.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	23.70	22.16
2019年9月期第3四半期	13.73	13.02

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	6,452	5,318	79.0
2019年9月期	4,009	3,414	80.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 5,098百万円 2019年9月期 3,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,250	72.4	1,070	91.6	1,070	92.8	650	64.6	31.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	21,404,300株	2019年9月期	19,762,900株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	478株	2019年9月期	478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	20,483,930株	2019年9月期3Q	18,465,135株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、日本政府は持続可能な経済財政の基盤固めに向けた構造改革を推進しており、健康寿命の延伸を喫緊の課題として『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置きつつ、テクノロジーの活用により医療・介護サービスの生産性向上を実現する、新しい医療・介護システムを構築することとしております。

また、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者(MR)の「補充」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。さらに、現在の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、これらのオンライン化の流れはさらに加速するものと見られます。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,659,352千円(前年同四半期比62.8%増)、営業利益733,735千円(同92.2%増)、経常利益757,093千円(同106.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益485,525千円(同91.5%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、医師のためのインターネットテレビ「MedPeer Channel」を開局するなど、国内医師の3人に1人の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上させる施策を展開してまいりました。また、薬剤評価掲示板などの広告配信を中心とした収益機会をコンテンツ制作や効果測定などの領域にも拡大させることを意図したサービス開発や提携を推進してまいりました。2020年1月には、医療系コンテンツの企画制作に実績のある株式会社コルボを連結子会社化し、マーケティング支援をワンストップで提供する体制をさらに強化しております。

これらの結果、売上高は2,681,840千円(同57.4%増)、セグメント利益は863,737千円(同44.7%増)となりました。

② ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatでは、産業保健支援サービス「first call」の収益基盤の強化に注力するとともに、ライフログプラットフォーム事業でサツドラホールディングス株式会社と新たに業務提携契約を締結するなど、さらなる事業拡大を推進してまいりました。また、子会社の株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業では、すべての指導をリモートで実施できるサービスの提供を開始し、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面面談が困難な状況下においても、必要な特定保健指導の実施ができる体制を整えております。

これらの結果、売上高は977,876千円(同79.9%増)、セグメント利益211,259千円(同316.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,442,295千円増加し、6,452,267千円となりました。これは現金及び預金1,405,505千円の増加及び受取手形及び売掛金374,727千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて538,420千円増加し、1,134,066千円となりました。これは未払金105,912千円の増加、未払法人税等88,201千円の増加、及び長期借入金51,840千円の増加を主要因とするものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,903,874千円増加し、5,318,201千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加1,365,764千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加485,525千円を主要因とするものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、業績の進捗状況や今後の経済状況を踏まえ、2020年2月13日に公表した予想を上回る見込みとなりましたので、これを修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年8月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,129,112	4,534,617
受取手形及び売掛金	502,554	877,281
その他	30,530	99,347
流動資産合計	3,662,197	5,511,246
固定資産		
有形固定資産	61,862	114,912
無形固定資産		
のれん	14,166	235,417
その他	118,628	171,217
無形固定資産合計	132,794	406,634
投資その他の資産	153,117	419,473
固定資産合計	347,774	941,020
資産合計	4,009,972	6,452,267
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,363	51,985
1年内返済予定の長期借入金	53,896	70,870
賞与引当金	48,890	58,803
ポイント引当金	67,152	79,397
未払金	115,541	221,453
未払法人税等	77,633	165,835
その他	126,694	277,669
流動負債合計	497,171	926,013
固定負債		
長期借入金	98,474	150,314
資産除去債務	—	34,169
その他	—	23,569
固定負債合計	98,474	208,052
負債合計	595,645	1,134,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,734	1,993,225
資本剰余金	1,523,780	2,210,271
利益剰余金	411,964	897,569
自己株式	△448	△448
株主資本合計	3,242,029	5,100,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,582
その他の包括利益累計額合計	—	△2,582
新株予約権	19,469	10,102
非支配株主持分	152,826	210,063
純資産合計	3,414,326	5,318,201
負債純資産合計	4,009,972	6,452,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,247,255	3,659,352
売上原価	711,725	1,254,118
売上総利益	1,535,530	2,405,234
販売費及び一般管理費	1,153,762	1,671,498
営業利益	381,767	733,735
営業外収益		
受取利息	9	126
持分法による投資利益	—	23,845
その他	543	1,189
営業外収益合計	553	25,161
営業外費用		
支払利息	995	1,382
持分法による投資損失	2,088	—
為替差損	26	0
貸倒引当金繰入額	18	—
新株予約権発行費	11,584	—
創立費	—	399
その他	369	22
営業外費用合計	15,083	1,803
経常利益	367,237	757,093
特別利益		
新株予約権戻入益	2,449	20
特別利益合計	2,449	20
税金等調整前四半期純利益	369,687	757,113
法人税、住民税及び事業税	96,980	189,546
法人税等調整額	8,530	24,805
法人税等合計	105,510	214,351
四半期純利益	264,176	542,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,686	57,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	253,489	485,525

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	264,176	542,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△2,582
その他の包括利益合計	—	△2,582
四半期包括利益	264,176	540,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,489	482,943
非支配株主に係る四半期包括利益	10,686	57,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、UBS AG London Branch等から新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ682,882千円増加しました。主にこの影響により、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,993,225千円、資本剰余金が2,210,271千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,704,009	543,246	2,247,255	—	2,247,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	145	279	424	△424	—
計	1,704,154	543,525	2,247,679	△424	2,247,255
セグメント利益	596,885	50,745	647,631	△265,863	381,767

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去5,040千円、各報告セグメントに配分していない全社費用270,903千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ドクタープラットフォーム事業	ヘルスケアソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,681,755	977,597	3,659,352	—	3,659,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	279	364	△364	—
計	2,681,840	977,876	3,659,716	△364	3,659,352
セグメント利益	863,737	211,259	1,074,996	△341,260	733,735

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去6,795千円、各報告セグメントに配分していない全社費用348,055千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。